

9月議会では、議案17件・同意案1件・認定10件・陳情6件の賛否が問われ、その内、議案3件・認定4件・陳情5件が賛否が別れました。
9月議会で賛否の別れた議案等について解説記事を掲載します。

第69号議案

保育の実施に関する 条例の一部改正

賛成21 反対2

反対討論 塚本美幸
国の保育料徴収基準が改正されたことにもなつての条例改正です。

所得税において控除が受けられる住宅ローン控除・寄付金控除等を、保育料の算定を行う際に控除せず、所得とみなして保育料の算定を行う内容があり、保育料を安くして欲しいという願いからも逆行する内容が含まれていると判断しました。



第75号議案

デジタルテレビ購入 契約について

賛成17 反対6

反対討論 山下幹雄

賛成討論 丹羽栄子

すでに導入が済んだ瑞鳳小学校を除く8小学校にデジタルテレビを設置するもので、予算としては6月市議会に可決されています。

文科省補助と経済危機対策臨時交付金を受けての事業で、契約金額が大きいため議会の承認を得る必要があります。

党内議員は契約の際、市内業者を優先することができればとの考えから、市内の電気店などの連合体を組織するなどして大手家電量販店と価格競争

させるなどの対応が取れなかったのか?といった疑問を議案聞取りの際に質しましたが、短期間で一気に工事を行うなどの条件を考えると難しいのでは?との答えでした。

公共工事の分離分割発注といった制度があれば、状況も変わる可能性があるのではないかと思えます。

山下議員の反対討論は、市内の業者が指名競争入札の参加者にも入っていないことなどを問題にしたもので、視点は良いと思えます。

丹羽氏の賛成討論は6月議会で可決済の議論を蒸し返すばかり。的を射ない内容に思えました。
落札額約4700万円
落札率80.8%



第76号議案

パソコン教室用コン ピュータ購入契約

賛成16 反対5

反対討論 山下幹雄

賛成討論 丹羽栄子

75号議案と同様、文科省補助と交付金を受けるものです。

パソコン更新対象の旭小・城山小・瑞鳳小及び全中学校のパソコンを購入します。

落札額約2100万円
落札率47.2%

ることができました。

さらに基金を1億円積み増すなどの黒字なのに、国保税の引下げに取組む姿勢がみられないことから、塚本議員が反対討論を行いました。



認定9号

後期高齢者医療 特別会計決算認定

賛成21 反対2

反対討論 塚本美幸

後期高齢者医療制度については、党が制度そのものを反対しているという政治的な立場から、予算にも決算にも反対をしています。

ただし、特別会計の補正予算では、制度の存在を問うのは難しいと考え、認めています。

陳情10号

市町村独自の私学助成 の拡充を求める陳情書

賛成3 反対20

賛成討論 花井守行

反対討論無し

私立高校の授業料補助拡充を市に求める陳情です。



陳情11号

国の私学助成の拡充 に関する意見書の提出 を求める陳情書

賛成21 反対2

討論無し

認定1号

一般会計決算認定

賛成21 反対2

反対討論 川村 剛

前号旭民報で反対討論を掲載しました。

認定2号

国民健康保険特別会計 決算認定

賛成21 反対2

反対討論 塚本美幸

国民健康保険特別会計は図らずも黒字となり、国保税の値上げを避けるために一般会計から繰入れた1億円も全額返金す

認定8号

介護保険特別会計 決算認定

賛成21 反対2

反対討論 川村 剛

平成20年度は3年毎の介護保険料改定を検討する年ですが、見直しの際に精算されるべき介護給付費準備基金を、介護保険料の引下げに使わず、貯め込んでいます。

これは昨年の介護保険運営協議会で、基金の性格を正しく説明していないう市のミスリードに起因するものだと、川村議員が反対討論を行いました。

9月議会

賛否の分かれた議案などに対する各議員の態度



○：賛成 ×：反対

※議長は採決に加わりません。

議案などの名称	会派	市民まちづくりネット							新成クラブ				政新あさひ				公明党			草莽崛起改革クラブ					
	日本共産党	川村剛	塚本美幸	大島もえ	楠木千代子	篠田一彦	花井守行	早川八郎	牧野一吉	水野義則	赤尾勝男	※谷口マストラオ	原淳麿	森和美	若杉たかし	相羽晴光	伊藤憲男	岩橋盛文	斉場洋治	伊藤恵理子	片渕卓三	丹羽栄子	坂江章演	森下政己	山下幹雄
第69号議案 保育の実施に関する条例の一部改正	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第75号議案 デジタルテレビ購入契約	○	○	○	×	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	
第76号議案 パソコン教室用コンピュータ購入契約	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	
認定1号 H20年度一般会計決算	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定2号 H20年度国保特会決算	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定8号 H20年度介護特会決算	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定9号 H20年度後期高齢特会決算	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情10号 市町村独自の私学助成の拡充を求める	○	○	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
陳情11号 国の私学助成の拡充に関する意見書提出	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情12号 愛知県の私学助成の拡充に関する意見書提出	○	○	×	×	×	×	○	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○
陳情13号 陳情の審議に関する陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○
陳情14号 議長と市民との対話に関する陳情	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

陳情12号

愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書

賛成5 反対18

討論無し

愛知県に市議会から、私立学校とその生徒に公私間格差是正の立場から助成増を求める、意見書提出を求めるもの。



陳情13号

陳情の審議に関する陳情

賛成12 反対11

賛成討論 水野義則
反対討論無し

市議会へ陳情書を提出した方が委員会での発言を希望すれば、陳情の内容・願意を説明できるように求める内容です。

もともと所管の委員会が、参考人として陳情者に出席を求めることができませんが、わずかな差で可決されました。今後、陳情者の意志でそれが可能になります。

陳情14号

議長と市民との対話に関する陳情

賛成11 反対12

反対討論 川村剛
賛成討論 水野義則

電子メールで市長に意見・提案を述べることができる「市長とe対話」という制度がありますが、議長に対しては無いので同様の制度実施を求めるものです。

市長あての電子メールや投書については、市が統一見解を持って迅速な回答をすべく、市は努力をしているところですが、「議長あて」ということになる」と議会を代表しての回答が迅速に出せるか、各議員の考えが違う内容はどうまとめるのか、など、うまく機能しないと思えます。

党市議団は、議会と市民とが対話する仕組みは必要と考えますが、他市で行われている「議会報告会」などを、まず試してみたいとの考えから、反対しました。